

さわやか通信

令和7年4月1日発行

No.31

株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成12年12月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 筑紫地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」

あ
る
ま
ま
に
楽
し
く
や
た
り
と

さわやか憩いの家大野城中央

利用者Sさん



絵 本田 理恵

【令和7年度あいさつ】



今年度は節目の年になります。開設し25年目となり組織的にも若返りが必要と感じています。さわやかテラス・さわやか憩いの家が地域と共に歩きながら家訓「あるがままに 楽しく ゆったりと」を体現していくためにも情報の共有とスマートな組織づくりが求められます。その意図には昨年末スタッフの家訓に沿わない不適切なケアがありました。ケアを積み重ねていくのは時間がかかりますが、崩れるのはあつという間だということをお願いされました。教育に力を入れてきましたが見直し伝え方にも工夫が必要です。

現在教育の柱は3つあります。

1つ目に、「寄りそい目標」というシートを活用しスタッフひとりひとりがスタッフの心得に沿って1年の目標を決めます。目標は仕事以外でも資格取得やチャレンジ目標を設定し、責任者が面談をしながらサポートしていく仕組みです。教育のひとつの手段ですが家訓の徹底するためにより効果があります。

2つ目に、「稲穂塾」を採用し外部講師が責任者をサポートし課題分析と面談を通してスタッフが働きやすい環境を作るために責任者が身に着けるコミュニケーション力向上のカリキュラムで

す。責任者がワンランク上を目指すことで、入居者・利用者の方が安心して生活できるように取り組んで10年になります。

3つ目に、「セラピューティック・ケア」を取り入れています。施設セラピストを養成し日常に手のぬくもりだけで施術することで入居者・利用者の方がリラックしたり自律神経を整えるなど効果があります。また、みとり期においても効果があり亡くなられたお体にも施術をしています。この取り組みも10年継続しています。

3つの教育を軸に今後新しい組織づくりとスタッフの意見が反映される教育の仕組みを取り入れていく必要があります。人を考え人として成長していく相互扶助の精神が育まれるように新しい教育もすすめていきます。その教育の中に昨年「外国人サポート委員会」を発足しています。現在3名が入職していますが、勉強とアクティビティ含め共に成長し家訓に沿った行動に繋がるように丁寧に伝える努力をしています。

いずれにしても、今年度は今まで通りというわけにはいきません。特に、小規模多機能型居宅介護施設のサービス種別が他とどう違い何を本人家族へサービス提供するのか、居宅サービスと何が違うのか説明しながら選ばれる事業所にしていくことが課題です。

今年度は組織づくりと教育。選ばれる事業所にしていくことを課題として取り組んでいきます。



さわやかテラス・さわやか憩いの家

代表取締役 平山 正明

【Iさんの思いに寄りそう10年】



小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家での取り組み

10月26日・27日で「第31回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会IN淡路島」で発表させて頂いた、さわやか憩いの家での実践を紹介する。

Iさん99歳 要介護5 戸建てに一人暮らし。利用開始前は甥と一緒に暮らししていたが、甥が急死され、急遽一人暮らしとなる。包括支援センターと友人の民生委員の立会いのもと「この家は代々ある家、私が守らないとダメだからここで暮らしたい。」「なんでもきんけど助けください。」「との言葉から支援が始まった。

初めの頃「ふじつまに参らないかん」と言われていたが、この頃はふじつまが何なのか、どこにあるのか、分かっていなかった。

ある時、誤嚥性肺炎で入院される。病院からは「一人暮らしは難しい」と話が出たが、Iさんは「やつぱり家がよかもんな」と言われた。すぐにキーパーソンの姪御さんとかかりつけ医に相談に行くと「何かあったら病院で対応しますよ」と言ってくれた。地域からは「一人暮らしは大丈夫だろうか」と心配の声がでたが、友人の民生委員が「さわやかさんが毎日入ってくれているから大丈夫よ」と説明をしてくれて、自宅に帰ることができた。

一昨年、キーパーソンの姪御さんが急死された。Iさんはお葬式にも参列されたが、それから、毎日夕方になると「家

に帰ります。」と切羽詰まった表情と声で言われるようになった。ある日スタッフ「家の住所わかりますか?」と聞いたところ、実家の住所をスラスラとおっしゃる。それならとIさんをその住所までお連れしようという事になった。住所の家につくと人が居られ、声をかけるとなんと親戚の方で「久しぶり。50年ぶりかな。ついこの間、皆で元気にしているのかなって話していたところよ。」と話してくださった。「ここは良くお参りに来ていたものね。」と言われて、近くの石碑に案内して下されると、その石碑が、Iさんが言われていた『ふじつま』だった。以前からことあるごとに「ふじつまに参らないかん」と言われていたが、やつとお連れすることができた。この後より、「家に帰ります」と言われなくなった。

「この家は代々ある家、私が守らないとダメだからここで暮らしたい。なんでもきんけど助けください。」の言葉を聞いて10年。家で生活を続けていくには、さわやか憩いの家だけではなく、かかりつけ医や区長、民生委員の理解と協力があつたからこそ、今でもIさんがご自宅で安心して生活ができているのだと思う。

これからも本人の言葉を大事に最期まで寄りそい続けていきたい。

(さわやか憩いの家春日 紺田 光二)



【認知症あったかホーム

コンサート2024】

福岡県とグループホーム協議会、小規模多機能連絡会、認知症のひと家族の会で実行委員会をしております、介護の日のついで「認知症あったかホームコンサート2024」が今年で14回目を迎えました。介護のもつ豊かさを伝え、グループホームや小規模多機能などの地域密着型サービスの理解を広め、認知症と共に生きる共生社会の普及・促進を図ることを目的としており、私も実行委員メンバーとして毎年携わってきましたが、福岡県と協働の形は今回がファイナルになります。

当日は、福祉に携わる皆さん、学生さん含め200名程の来場がありました。「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を踏まえて、当事者の福田人志さん、ビデオトークでは丹野智文さんや山中しのぶさんにもお話を頂きました。これからも目の前の人の声に耳を傾け、本人主体のケアから軸がずれないように、そして社会の中で認知症バリアフリーがもつと広がっていくために、自分たちができることを発信し続けていきたいと思っています。

(さわやかテラス大野城・さわやかテラス大野城中央・

さわやか憩いの家大野城中央 平原 由香)



【台湾研修】

令和7年1月14日～1月17日の3泊4日にて、10年勤続スタッフの台湾研修に参加しました。

2日目に「家恩日間照顧園區」の見学を行いました。家恩日間照顧園區は、日本でいうデイケアに近い施設であり、1日に30名の方が利用されることでした。施設内では利用者の方の作品が飾ってあり、見学の日は大学から実習生も参加されており、大学生だけでなく高校生の学生ボランティアの受け入れもされているとのことでした。レクリエーションも日本の本が置いてあり参考にして活動の中に取り入れられ、台湾は昼寝の文化が子供の頃からあるそう、昼食後に昼寝されていました。日々の活動の中はレクリエーションや運動だけでなく、洋服を作ったり、資生堂がスポンサーとなり化粧を取り入れることでいつまでも美しくいられることが本人の自信につながり、実際にその姿を見た家族も元気になることでした。今回、台湾の文化や介護保険制度を学びました。日本と場所は違っても入居者・利用者の方を中心に考えるパーソンセンタードケアは変わらないものだと感じた研修でした。

(さわやか憩いの家二日市 大塚 裕輔)



【防災士に合格しました】

令和7年2月8日～9日の2日間、防災士養成研修と防災士資格取得試験を受け防災士の資格を取得することができました。

防災士とは民間資格で、自主的な防災ボランティア活動を行う人です。「自助」「共助」「協働」の3つを原則として、十分な意識と一定の知識・技能を取得したことを日本防災士機構が認証した人です。

防災士の役割としては、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待されています。そのため災害時支援、防災啓発、防災訓練の主導が主な活動になります。

福岡県では北西部と南東部に分けて筑紫野市までに及ぶ警固断層帯があります。もし地震が発生した場合、北西部でM7.0。南東部でM7.2。警固断層帯全体での地震ではM7.7の大地震が起きると予想されています。記憶に新しい能登半島地震はM7.6で震度7を観測されました。同じ規模の大地震が福岡でいつ起きてもおかしくありません。そのため防災士として、事業所の防災だけでなく、事業所のある地域と協働して、事業所と地域の防災力を高めることに貢献できるよう頑張りたいと思います。

(さわやかテラス大野城中央 原田 寛史)



満点合格！！

【共に働く仲間を迎えて】

☆フィリピン出身の私は日本の認知症高齢者のグループホームで働くことになりました。初めは何も分からず緊張しました。日本での介護は自分の両親や祖父母を世話し、愛することと全く同じです。私を導き、教え助け、説明してくれる心優しいスタッフに感謝しています。フレンドリーで親切的な職場環境に恵まれて幸せです。やりがいを感じています。これから前向きに感謝しながら仕事をします。さわやかテラスはみんなの家です。

(さわやかテラス二日市

キアポ ジンビ
カバンゲバンガン



☆さわやかテラスで働き、入居者さんと関わる機会を与えられたことにとても感謝しています。日本語がうまく話せないのが皆さんとのコミュニケーションがうまく出来ると心配しましたが、皆とても親切で私によく教えてくれました。入居者さんは私に温かい笑顔と心温まる歓迎をしてくれて、私の心はとても幸せになりました。もつと学び、快適な環境を作り、入居者さんを幸せにするにができるように頑張ります。

(さわやかテラス

大野城中央
アグスト
ジエナフェ
シネザ)



【さわやか憩いの家二日市で

和子先生との思い出】

憩いの家での思い出は小学1年生の頃、和子さんがお泊りになった時に一緒に泊まらせてもらい、行方不明になった時は何度も迎えに行き、一緒にご飯を食べ、ビーチボールで遊んで下さったりなど、高校生になった今でもその思い出が深く印象に残っています。

そして高校生になり憩いの家でアルバイトを始め、和子さんと出会って10年が経ちました。和子さんは95歳になりました。昔に比べ体は衰え、車椅子が必要な生活になりましたが、まだまだ元気に「あんたー」と呼びお喋りしてくれまし、ほんとたまに「田中さん」と名前を呼んで下さる時は驚きますが嬉しい気持ちにもなりました。和子さんの凄いい所は、小学校の先生だった誇りと、自分の絵だけは数年前だろうと関係無く忘れな所です。もうすぐ僕も高校を卒業し、大学に行きますが、憩いの家での経験を糧に頑張っていきたいと思っています。

(さわやか憩いの家二日市 田中 悠介)

11歳の頃の思い出
憩いの利用者さん
とつくし探りに行
きました。



18歳になりました。
3年間アルバイトを
させてもらいま
した。



—あの日・あの時—

コラム

さわやか憩いの家春日に入社をして6年になります。入社をしてから、本当に多くの事を利用者の方から学ばせて頂いています。料理好きな方からは「あんたこんな切り方をしていたら一生終わらないよ。こうやって野菜を切ったら見た目もきれいでしょ。」料理は見た目も大事なのよ。」と厳しいことは言われながらも、慣れた手つきでササッと切り終えて、教えて頂きました。

ある時、私がプライベートでの人間関係に悩んでいる時がありました。利用者の方には悩んでいることを話したわけではなかったのですが、会話の中で「私は昔から人に恵まれていたのよ。私の周りには、いつも不思議と良い人が集まるの、本当に不思議なのよ。私は人にどのように思われるかより、自分が相手に対してどう思えるかを一番大事にしているのよ。昔からずっとそう思っていてきたの。」と笑顔で仰っていました。その話を聞いて、悩んでいた私はその言葉が胸に刺さり、心のモヤがパツと無くなり、前向きになっている自分がいました。その時「自分自身がどれだけ相手を楽しめる心を持っているか」が一番大事なことに気が付かせて頂きました。

私は「あるがままに 楽しく ゆったり」との家訓が、優しくぬくもりを感じて好きです。年数を重ねるごとに家訓が私の中でより深く大切なものになってきているのを肌身で感じています。まだ利用者の方からたくさんさんの事を教えて頂くことが多いですが、利用者の方と「あるがままに 楽しく ゆったり」と一緒に歳を重ねていきたいと思っています。

祝 百歳万歳 祝



さわやか憩いの家春日
柴藤 恵子

2月25日に祐野敏也さんが百歳のお誕生日を迎えられました。大きなケーキを召し上がった後、ご家族さんからのきれいなお花を眺めておられました。息子さんやお孫さんも会いに来てくださり楽しい時間を過ごされました。



編集後記

3月の忘れ雪が降り暖かな日がつづく春が来たなと感じる日を送っている。

冒頭のあいさつで、組織の若返りが必要と書かれているように、今年は新たなチャレンジの年になると感じている。25年積み上げた方針に沿ったケアを継承しながら、入居者・利用者の方から学ばせ姿勢を大切に進んでいくことが必要と感じる。

ある利用者の方が「何かあるかもしれない、どうなるか心配と思う人生よりも、人生を楽しみ豊かに暮らすほうがいい。」と言われたことを思い出す。確かにそうだと考えたことがあった。季節を楽しみ草花を美しいと愛でる感性を持ち、体の衰えは受け入れて年のせいにしないことだとその方から教えられた。今がその時かもしれない。新しいチャレンジは誰も先を歩いていないから心配はつきものだけれど、そう心配するよりも今後組織が新しくなつた時に方針に沿って頑張ろうと思うスタッフと共に前を向きチャレンジしていくほうがよいと思う。年はとつても気は若く働きたい。私たちも豊かな人生をあゆみたい。そう思いながら畑に咲いた春の新芽を見て思いにふけた。

田中 順子

(広報担当 田中順子・紺田光二)

種子島こなつ・東桃子・森俊佑

ウェルフェアネット令和7年度の活動

社外研修・セミナー参加

日本認知症ケア学会
日本ホスピス・在宅ケア研究会
台湾研修
日本セラピューティック・ケア協会
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会
九州地区での各種研修
他事業所との合同研修

各団体との関わり

福岡県高齢者グループホーム協議会
筑紫野地区やさしい福祉結の会
日本介護福祉士会
福岡県介護福祉士会
筑紫地区小規模多機能連絡協議会
大牟田市介護サービス事業者協議会

地域との関わり

各地域の自治会・育成会・老人会など
地域の保育園・小学校
民生委員・福祉委員
各地区の地域包括支援センター
筑紫野市介護を考える家族の会
春日市介護を考える家族の会「ひだまりの会」

検索してね!

検索 さわやかテラス



相談会や講座開催に積極的に協力
認知症サポーター養成講座
社外実習生の受け入れ
公民館活動との連携
災害広域相互協定の推進

筑紫野市

グループホーム

さわやかテラス 二日市

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号
TEL092-918-0045 FAX092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家 二日市

〒818-0067 筑紫野市俗明院1丁目13番5号
TEL092-918-3830 FAX092-918-0255

グループホーム

さわやかテラス 筑紫野

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1
TEL092-917-7011 FAX092-917-7022

大野城市

グループホーム

さわやかテラス 大野城

〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5番29号
TEL092-513-7511 FAX092-513-7512

グループホーム

さわやかテラス 大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL092-501-0352 FAX092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家 大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL092-501-0322 FAX092-501-0323

春日市

グループホーム

さわやかテラス 春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL092-588-3307 FAX092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家 春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL092-588-3531 FAX092-588-3308

株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番450
TEL092-582-0757 FAX092-582-0847